

第四回放送 自己PRって何ですか？（その2）

前は自己PRについて考えてみました。

前のポイントは、

- ・ 300～400字、あるいは1分程度の自己PRというのは、さほど違いを感じられないことが多い。
- ・ 興味深いのは似た様な1分程度の自己PRをしゃべっていても、Aさんは内定し、Bさんは落ちてしまうことがあるのです。
- ・ 面接では自己PR→面接担当者から質問→学生の答→また質問→答える、、、と続くが、答がAさんとBさんでは違う。そこに説得力の差が出る。
- ・ つまり自己PRが重要というより、ポスト自己PRが重要。あるいは自己PR+αが重要。

●自己PR+αを鍛えるためにはどうするか？

短い自己PRを書いて思考停止してしまっは、いけません。その先まで考えておくために、「5X5のQ&A」という作業をおすすめしたいのです。

●「5X5のQ&A」とは何か？

- ・ 友人、知人、親兄妹の誰でもよいからペアになります。（3人一組でもよい）
- ・ 例えば田中さんの自己PRを吉川さんが読みます。
- ・ 田中さんの自己PRについて吉川さんは、5つの質問（質問a～質問e）を考え、質問します。
- ・ 田中さんは5つの質問をメモしながら、答えてみます。
- ・ 今度は質問aの答（田中さんの答）について、吉川さんはさらに質問（a2）をします。
- ・ 田中さんの答→さらに質問（a3）→答→質問（a4）→答→質問（a5）→答

というふうにやってみます。

●「5X5のQ&A」の事例

自己PR

「私は一度始めた事は最後まで諦めない人間です。居酒屋のアルバイトではお客様の様子を常に見続け、気配り、目配りを欠かさずやってきました。お客様から声をかけられる前に自分から声をかけることにこだわってきました。人見知りという欠点も克服することができ、最後まで諦めない事で、必ず結果が出るということを実感しました。御社でもこの考え方で仕事にうちこんでいきます。」

●5つの質問

質問a「どのような目的意識で居酒屋のアルバイトに打ち込んで来たのですか？」

質問b「気配り、目配りについて具体的に教えて下さい」

質問c「声をかけられる前に自分から声をかけることにこだわったのはなぜですか？」

質問d「必ず結果が出る、というのは、どのような結果が出ましたか？」

質問e「ここで学んだ事は仕事でどのように活かす事ができますか？」

●深く掘る質問（X5の質問）

質問a「どのような目的意識で居酒屋のアルバイトに打ち込んで来たのですか？」

答「何かに打ち込みたいと思っていたからです」

質問 a2)「なぜそう思ったのですか？」

答「打ち込む事で自分が成長できるのではないかと思ったからです」

質問 a3)「ではどのように成長できましたか？」

答「アルバイトとはいえ、お客様からすれば関係ありません。何か問題が起これば、店を代表して謝る必要もあり、責任感も身に付いたと思います。」

質問 a4)「責任感が身に付いた、について具体的に説明して下さい」

答「はじめは言われた事だけやればいいと思っていたのですが、あるお客様に怒られた事と、ホール、キッチン、レジなど全ての仕事を経験した頃から考え方が変わりました。次の行程のことを考えて仕事をする事で、仕事はスムーズにまわり、またお客様も満足していただけるということに気付いたのです。」

質問 a5)「お客様に怒られたことについて、具体的に教えて下さい」

答「はい、料理を出すのに時間がかかり、二度ほど『まだですか？』と聞かれていたのですが、キッチンとの連携が悪く、40分ちかくお待たせしてしまいました。ホール系の私としては『キッチンは何してんだよ。俺は悪くないのに、なぜ謝らなきゃいけないのだ』という気持ちがあり、それが態度に出ていたようです。お客様は最後に怒りだして『もういいよ』と言って出て行かれてしまいました。」

●「5X5のQ&A」のメリット

この作業には4つのメリットがあります。

- 1、 自己理解が深まります。(質問されて答えられないことに気付きます。そこがあなたの弱点ということになります。重点的に自己分析しておきましょう)
- 2、 面接対策になります。(このように25の質問を事前に考えておけば、ほとんどの面接担当者の質問が想定済みということになります。本番でも気持ちに余裕が出ます)
- 3、 質問する事の難しさに気付きます。(面接担当者の考え方、気持ちがわかるようになります。自分のことを客観視できるようになるでしょう)
- 4、 エントリーシート(自己PR・志望動機など)の内容がレベルアップします。(書類選考にも落ちにくくなるでしょう)

ということで、自己理解、エントリーシート、面接と就職活動の重要局面において、大きな効果が期待できます。

実際に番組にでも出ていた女子学生、佐久間さん(外資系ITメーカー内定)もこの作業をやり、「すごい効果的でした」と言っています。

* 詳細は、福島直樹の「就活の常識を疑え！」 で確認してください。

井田晃記